

身近な場所で演劇に出会えるお祭り

ふじのくに野外芸術フェスタ2021 in 御殿場

アートとクラフトのフェスティバル「アークラ大サーカス」でドタバタ風刺劇を上演

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

広場や公園、路上など、身近な場所で演劇に出会えるお祭り「ふじのくに野外芸術フェスタ」。2013年より静岡市をはじめ浜松市・三島市・藤枝市・掛川市・袋井市など県内各地で、国内外のアーティストが野外パフォーマンスを行ってきました。今年は、11月6日(土)、御殿場市で行われるアート・クラフトのフェスティバル「アークラ大サーカス」に、SPACのオリジナル劇『ちんどん見聞録』が登場します。

本作は、“ロボット”という言葉を作ったとされるチェコの作家カレル・チャペックの戯曲『白い病』をもとにしています。太鼓や鐘の賑やかな音色と共にやってきた旅芸人。そこに突如として流行り始める、死に至るく白い病。人々が恐怖と混乱におちいる中、「特効薬を発見した」という町医者が見えます。彼は治療にあたり“ある条件”を提示して…。

藤枝を拠点に地域に根差した多彩な活動で注目を集める劇団ユニークポイントの山田裕幸と SPAC が、新型コロナウイルス感染症にいまだ翻弄される私たちに贈る、おかしくもおそろしいドタバタ風刺劇。どうぞご期待ください！

ふじのくに野外芸術フェスタ 2021 in 御殿場

ちんどん見聞録 『白い病』(カレル・チャペック作 阿部賢一訳)より **無料・予約不要**

演出: 山田裕幸(ユニークポイント)

出演: SPAC/大内智美、河村若菜、貴島豪、杉山賢、武石守正、
吉植荘一郎、渡辺敬彦[五十音順]

ゲスト出演: チンドンのまど舎/紺野しようけい(ちんどん太鼓)、ほりごめみほ(アコーディオン・作曲)

◆日時: 11月6日(土)10:00開演 [上演時間: 40分(予定)]

◆会場: 国立中央青少年交流の家(御殿場市中畑2092-5)
※JR「御殿場駅」から富士急行路線バス「青少年交流の家」行きで約20分

主催: ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会、公益社団法人全国公立文化施設協会

共催: アークラ大サーカス実行委員会

助成: 文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業

公演の詳細はSPAC公式サイトへ。またご来場にあたっては「新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みとご来場の皆様へのお願い」を必ずご確認ください。



演出家プロフィール



山田 裕幸(やまだ・ひろゆき)

劇作家、演出家、ユニークポイント代表、白子ノ劇場芸術監督。約25年間、東京を拠点に国内外で上演活動を行ってきたが、2015年より静岡に移り、18年藤枝市に白子ノ劇場を開設。地域に根差した創作で活動の幅を広げている。

SPAC-静岡県舞台芸術センター

静岡県が設立した公立劇団。グランシップ内の静岡芸術劇場と日本平にある舞台芸術公園を拠点に、多彩な舞台芸術作品の創造・上演とともに、「ふじのくにせいかい演劇祭」の開催、海外公演、中高生鑑賞事業や人材育成事業、県内各地でのアウトリーチなど様々な活動に取り組んでいます。

アークラ大サーカス

全国のクラフト作家やアーティストの作品を展示販売するほか、多彩なワークショップやパフォーマンスも。

11月6日(土)10:00-16:00、7日(日)9:00-15:00



「ふじのくに野外芸術フェスタ2021 in 御殿場」に関するお問い合わせや取材のご希望は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 内田」までご連絡下さい。
Tel: 054-208-4008(舞台芸術公園) / Fax: 054-203-5732 / E-mail: uchida@spac.or.jp